

工事請負契約の0.01%で100年のデータ保存保証

竣工図書デジタル化・アウトソーシングのご案内

- ◆2015年3月制定のデジタルデータ長期保存規格 J I S Z6018 に準拠
- ◆日本建設業連合会様の長期保存ガイドラインの事例に採用

工

建設業界一筋22年の実績



システム・プランニング株式会社

神奈川県海老名市国分南1丁目2番23号 2001ビル

TEL 046-234-5688 FAX 046-234-5554

URL <https://www.system-p.com>





はじめに

拝啓

日頃より格別なご配慮を賜り誠にありがとうございます。

さて、この度ご提案させて頂く内容はJIS Z6018に準拠したデータ保存方式により竣工図書を工事単位でデジタル化および35mmCOM化し、保管と活用を円滑にしながら、総合的なコストダウンを実現するシステムです。

具体的には、作業所様と直接やりとりをして、弊社センターに竣工図書をお送りいただき、デジタル化と35mmCOM化をします。これによって紙原本は不要となり廃棄できます。

デジタル化したデータはお客様のネットワーク内で検索・閲覧など活用でき、竣工図書は35mmCOMで永年保存ができます。貴社の工事請負契約の約0.01%で100年以上、保存活用ができるシステムです。

確実、正確、簡単、そして安価であること、これが弊社が創造するシステムの根幹です。弊社はデジタル化業務の中で竣工図書関連業務が全体の95%を占めており、現在大手建設会社様10社と22年間に渡るお取引の実績がございます。

当社システムは2012年3月に日本建設業連合会様の「建築工事における書類・図面の電子化／保存ガイドライン」の事例に採用されました。竣工図書の管理・統制とデータの有効活用を目指すシステム構築なら弊社にお任せください。

ぜひこの機会にご検討くださいますようお願い申し上げます。

敬具



1. 日本建設業連合会のガイドライン事例

日本建設業連合会のガイドラインの事例に採用されています。

当社システムは、1998年に大手建設会社様で竣工図書の長期保存方法として採用され、その後大手10社に採用されています。また、建物竣工時における保存対象書類の提出状況のチェックを確実に実施することができ、法的証拠能力強化措置を実施し適切に運用できているとして、2010年3月には、日本建設業連合会の「建築工事における書類・図面の電子化/保存ガイドライン」の事例にも採用されています。

現在2012年3月発行の第2版がhttps://www.nikkenren.com/kenchiku/ict/result/2012_03_guideline.htmlよりご覧いただけます。

民事訴訟を未然に防ぐためには真正性・証拠性のあるデータの残し方をお勧めします。

建築三法1-建設業法

法第40条の3の改正により、営業に関する図書として、以下の図書の保存が義務付けられた。

1. 完成図
建設工事の目的物の完成時の状況を表した図
2. 発注者との打合せ記録
請負契約の当事者が相互に交付したものに限り
3. 施工体系図
作成特定建設業者のみ保存

- ✓ 「完成図」「発注者との打合せ記録」の具体的な内容については、特定されておらず、各社の判断が必要。
- ✓ 保存期間は建物を引き渡した日から10年間(規則第28条第2項)

BCS IT推進部会 工事情報活用専門部会

建築三法2-建築士法

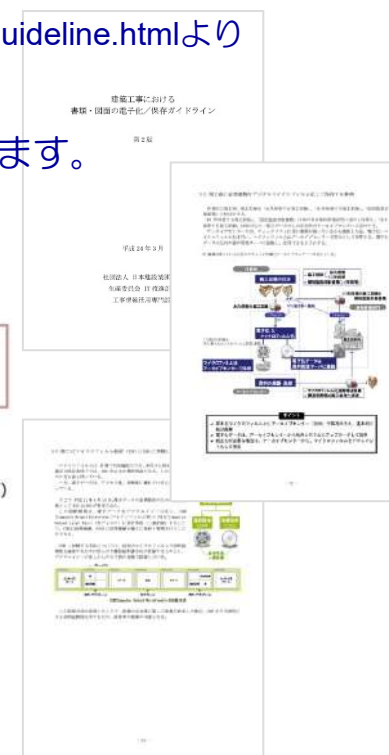
法第24条の4第2項
建築士事務所の開設者は国土交通省令で定めるところにより、その建築士事務所業務に関する図書で国土交通省令で定めるものを保存しなければならない。

保存図書は、次に示す設計図書または工事監理報告書と定められている。(規則第21条第4項)

1. 配置図、各階平面図、
2面以上の立面図、2面以上の断面図
2. 基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、
構造詳細図、構造計算書
(建築基準法6条第1項二号または三号に係る場合のみ)

- ✓ 保存期間は、図書を作成した日から15年間(規則第21条第5項)

BCS IT推進部会 工事情報活用専門部会





2. お客様における現状の課題と問題点

1 作業所の現状

1. 竣工を迎え、マンパワー不足による竣工書類の仕分作業の不備、遅れ。
2. 竣工書類の提出忘れ。
3. 全書類が揃うまでの保管・管理が難しい。
4. 紙書類と電子データが混在し保存の仕方に苦慮している。

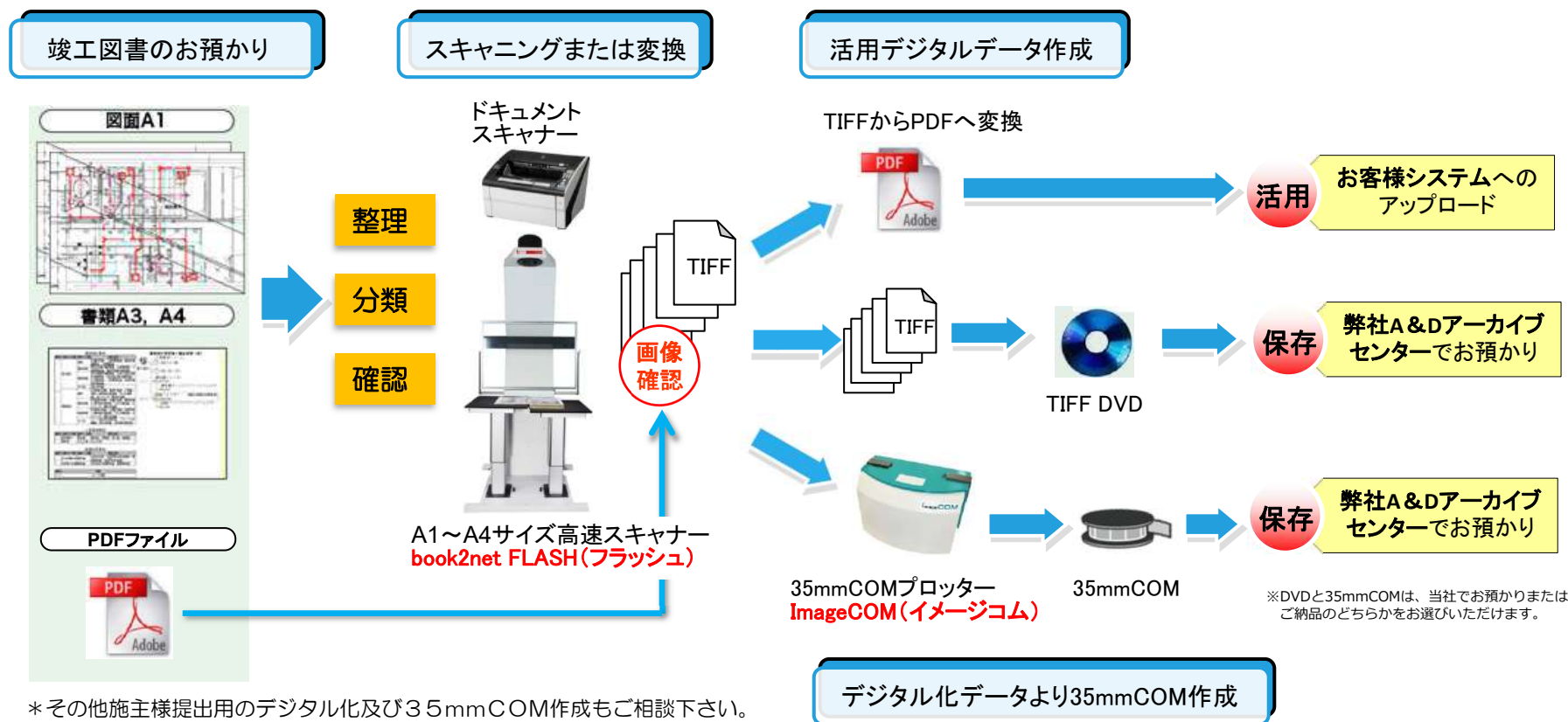
2 本社・支店の現状

1. 管理部門としての一元管理ができていない。どこに何があるか担当者に依存している。
2. 図面を見たいときにタイムリーに閲覧できない。
3. クレーム対応時にすぐに書類を見つけ出せず、国交省からの提出要求に即対応できない。
4. 竣工書類の保管費用が半永久的に発生し、竣工の都度増え、倉庫がいっぱいになっている。
5. 外部倉庫に保管した書類は閲覧するのに多大な労力がかかり、即入手できない。
(書類自体の存在の確認、外部倉庫からの郵送に日数を要するなど)
6. 保管期間を経過した書類の仕分け・廃棄等の管理、紛失・消失の危険。



3. 竣工図書のデジタル化アウトソーシングフロー①

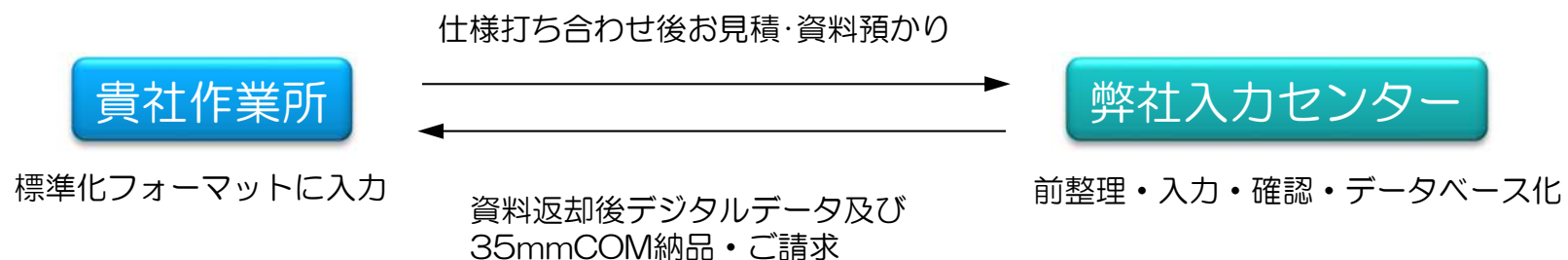
JIS Z6018に準拠しデジタル化及び35mmCOM化業務を請け負います。





4. 竣工図書のデジタル化アウトソーシングフロー②

1. デジタル化作業は、弊社入力センター（神奈川県海老名市）にて集中して行います。
2. 対象資料の送付は、宅配便等を利用いたします。
3. デジタル化した資料（原本）は、お客様指定の場所へ返却または一定期間お預かり後に廃棄（溶解処理）いたします。
4. DVD・35mmCOM等は、一括で指定場所に納品、または弊社アーカイブセンターでお預かりいたします。
5. お預かりした資料が急に必要になった場合は、弊社センターより宅配便によるご返却、およびすでにデジタル化済みの資料については、即日専用サーバーからダウンロード等に対応いたします。



* 資料は2週間で返却し、デジタル化データ及び35mmCOM等はその後納品いたします。
(お急ぎの場合はご相談ください)



5. 竣工図書デジタル化システムのメリット

- ① 弊社センターで**専門スタッフ**が各工事単位の竣工図書の**到着を管理し、貴社指定のフォルダー構成に仕分け**をします。
- ② 不足書類があった場合は該当作業所のご担当者へ確認を取るなど徹底します。
- ③ 竣工予定に従い、提出の遅れや漏れがないよう作業所のご担当者へ連絡します。
- ④ 提出される書類の品質を統一します。
- ⑤ 段階的に送られる書類は弊社にて保管をし、**全書類が揃った段階で完成版を作成**します。
- ⑥ 竣工図書の保管費・保管場所が増大する中で、長期保存のものはデジタル化・35mmCOM化することで**コストダウン**できます。
- ⑦ **作業所と直接やりとりして概算価格での予算化**：標準化されたフォーマットを使用することにより、デジタル化前の整理から完成までを予算化することができ、管理部門の経費負担の軽減及び業務の効率が向上します。
- ⑧ **タイムリーなデータの活用**：これまでマンパワーと時間をかけてしかできなかったものが、瞬時に活用できるようになり、ネットワークを利用することで活用範囲も広がります。
- ⑨ **データの集中管理が可能**：仕分分類の統一化により、全工事のデータを一元管理できます。また、貴社既存データサーバーへのアップロードもできます。
- ⑩ **データの長期保存リスクから解放**：データのマイグレーションから解放されると同時にBCP対策になります。



業務の負担を軽減し、現行業務の効率を向上させます。



6. JIS Z6018 (ISO 11506) とは

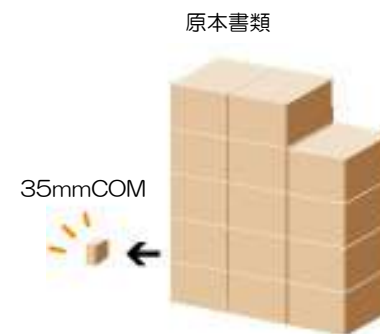
JIS Z6018に準拠したデータ保存方法により紙原本を廃棄することが可能になります。

JIS Z6018によって、デジタルデータのアーカイブ方法が標準化されました。

デジタルデータをCOMマイクロフォームとCOLD光ディスクに並行作成（二重記録）することで、COMは証拠価値、COLDは活用価値を備えた保存・管理を行うことができます。

COMへ記録する方法については、従来のマイクロフィルムで法的証拠性を確保するために採られた撮影証明書方式に匹敵するものとしています。よって記録の完全性に関して疑義が発生した場合、COMが非改ざん性をもつため、紙原本の廃棄が可能となります。

紙にかわって法的証拠能力のある35mmCOMで保存することにより、スペースを節約し、保管コストを大幅に削減します。
また、真正性、証拠性があるため民事訴訟にも対応できます。



スペースはわずか350分の1
※A4サイズの書類で試算



7. 35mmCOMによる保存のメリット

デジタル化社会へ進展する一方では・・・

- 急速な技術革新による**環境の変化**によって、大切なデータファイルが開けなくなる。
例えば、ハード（OSを含む）のシステム変更やソフトのバージョンアップ。
- データの**クラッシュ**、**CDの破損（内部のカビ発生等）**によりデータが見られなくなる。
- 紙データ（原本）の保管スペースと費用の問題。



紙原本に変わり、**真正性・証拠性のある35mmCOM**
(JIS Z6018準拠) による保存

長期保存性（適正な保存条件下では、500年以上の期待寿命）

高画質（35mmCOMに直接レーザー光でプロット、解像度は400dpi）
⇒万一、デジタルデータが失われた場合でも、高画質でのデジタル再作成が可能。

規格の統一（JIS Z6018に準拠）

可視性（拡大して目視可能）
⇒デジタルのように見られなくなるという心配は、全くありません。

システムの継続性



8. お見積について

お忙しい中、ご一読頂きまして誠にありがとうございます。

費用は、数量(枚数)・対象資料の状態等により変動いたしますのでご相談ください。

尚、内容につきましてご不明な点がございましたら、ご説明にお伺いします。

また、その他ご要望がございましたら遠慮なくお申し付けください。

お問い合わせ先は システム・プランニング株式会社
画像情報システム事業部
竣工図書担当 森弘 志保

TEL 046-234-5688

FAX 046-234-5554

E-mail iis@system-p.com

URL <https://www.system-p.com>

本社：〒243-0405 神奈川県海老名市国分南1-2-23 2001ビル

ショールーム：海老名市国分南3-1-34 2020ビル



System-P

Image Information Systems Planner

～心豊かに暮らせる未来へ向けて。～大切な情報は人類の資産です～

ほんとうに価値のある情報を保存することは、心豊かに暮らせる人類の未来へ向け、とても大切なことだと考えます。それは、私たちが「価値ある情報=人類の資産」と考えるからです。

人類の資産を後世へ遺すためのシステムの創造、それが私たち企業としての使命であると考えます。

✓ 確 実
✓ 正 確
✓ 簡 単
✓ 安 価

確実、正確、簡単、そして安価であること。これが私たちが創造するシステムの根幹です。誰もが容易に扱えるシンプルなシステムにこそ価値があると考えます。